

R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1983号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市梅名393-1 プケ東海三島
TEL(055)984-0120
会長 諏訪部照久 幹事 千葉 慎二



広重版画より 三島 朝霧

第2046回例会

2014.10.23雨

司 会

三田明宏君

ロータリーソング

「それでこそロータリー」
指揮 登崎久夫君

会長挨拶

副会長 鈴木郁夫君

10月も終わりに近づき、朝晩一段と寒さが増してまいりました。皆様方には寝冷えなどなさらぬように、健康にお気をつけてお過ごしください。

さてこの間の日曜日に見晴フェスタがありました。詳しくはのちほど藤江社会奉仕委員長から報告があるかと思いますが、大変好天にも恵まれまして、たくさんの方にお手伝いいただき、盛況裏に無事閉会いたしました。ご協力、お手伝いしていただきました、ミセスロータリーの皆様、藤江社会奉仕委員長をはじめとする社会奉仕委員会、会員の皆様方、また今回より初めて甘酒を提供していただいた、伊豆フェルメンテ、宇田川会員にあらためてお礼を申し上げます。

さて副会長あいさつも今回で4回目となり、そろそろ次年度に向けて気持ちを切り替えなくてはいけないな、ということで、ロータリー関係の資料を整理いたしましたところ、偶然に私が入会した時の週報が見つかりました。

1995年10月5日、19年前です。ちょうどガバナー訪問の日で、当時の高橋堯昭ガバナー、富士の毘沙門天住職だった方ですが、高橋ガバナーからバッチをつけていただいている写真が載っていました。当時私は47歳、趣味はスキーとパーソナルコンピューターとありました。当日にクラブ協議会が開かれており、ガバナーの講評、総評などが載っていました。その中で高橋ガバナーは”ロータリーはお金持ちのお遊びではございません。皆が例会に出て、職業を通じて相手の良いところを学びあう場でございます。このクラブは、実によくまとまっていると感じました。”と総評の中でお話しになっていました。

見晴フェスタに参加してみんなに喜んでいただく、例会に出席して親睦を深めながら、お互いに良いところを学んで自

分を高める、奉仕と親睦、どちらにもかたよらないこのバランス感覚が西ロータリーの良いところではないでしょうか。

さて今月は職業奉仕月間です。この後のクラブフォーラムで職業奉仕委員会によるバーチャル職場見学会が行なわれます。見学事業所は、当クラブ伊丹会員が経営するマルヨ給食センターです。衛生の世界基準HACCP(ハサップ)を導入した新しい工場だそうです。安心、安全、健康という伊丹会員の思いのこもった工場を見学して、いろいろ学んでいただけたらと思います。

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正率
前々回	39/45	86.67%	44/45	97.78%
今回	34/45	75.56%	会員総数	50名

欠席者 石井(彰)君、石井(良)君、勝間田君、窪田君、鈴木(正)君、野田君、橋本君、平出君、古川君、森崎君、柳田君

幹事報告

幹事 千葉慎二君

- ①今月は職業奉仕月間。本日は佐々木委員長担当でクラブフォーラム。伊丹会員の工場のバーチャル見学です。
- ②先週は見晴フェスティバルへのご参加ご協力、前日の北上文化プラザでのお手伝いありがとうございました。
- ③来週10月30日は特別休会。
- ④第2週にお願いした、グランドワーク三島による梅花藻の里の水源保全のためのトラスト運動の説明。湧水源2か所を含む2区画約100坪(50万円/坪)が対象。行政(三島市)による取得を促すための市民活動としてのトラスト運動。

2014～2015年度
国際ロータリー会長
ゲイリー・C.K.ホアン

ロータリーに輝きを

“こんにちは、ようこそ”

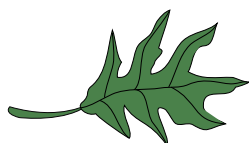
ビジター 伊丹克明君(三島RC)

おめでとう

会員誕生日 遠藤(武)君、瀬川君、
鈴木(郁)君
入会記念日 遠藤(正)君
奥様・ご主人誕生日 前田(博)君、田熊君
結婚記念日 遠藤(正)君、坂本君、
柴崎君

スマイルボックス

- ◆伊丹克明君(三島RC)、父がお世話になっております。本日は画面操作のお手伝いに来ました。親子の気が合うところを見てください。
- ◆遠藤(武)君、この度は関本文彦さん、平野さん、伊丹さん、前田房江さん、お心遣いをありがとうございました。大変感謝しております。無事に済みました。
- ◆藤江君、先日の見晴フェスタ2014、皆様方のご協力のお蔭をもちまして大成功となりました。あらためてメンバーに感謝申し上げます。ありがとうございました。
- ◆前田(博)君、途中おいとまします。



卓 話

職業奉仕月間 職場見学

伊丹秀之君

本日は職業奉仕委員会のご依頼で弊社マルヨの職場見学を実施することとなりました。本日はバーチャルにて見学していただきます。

弊社は平成22年12月27日に二日町駅西側付近に延床面積1,395㎡、日産能力1万食の工場を完成させました。この工場建築のきっかけは、ノロウイルス、O-157等の食中毒がはびこる中、安心・安全・健康を目指した工場がこれからは絶対必要だと考えた点と、偶然にも安い土地を買ってあった点でした。とりわけ安心して召し上がっていただく食品作りにはHACCPシステム導入が必要と考えました。

HACCPとは日本語では危害分析重要管理点監視方式と訳されています。NASAが宇宙食を製造する手法で理論的には完璧な衛生管理法です。この工場での特記すべき事項を申しますと、高度清潔区域の盛り付け室には0.53ミクロンのヘパフィルターを設けてあり、その空気を陽圧方式で清浄化し工場中心に流入させている点です。すなわち工場内の空気は0.53ミクロンのフィルターを通過した空気です。次に、工場に入る所に手洗・エアシャワールームがありますが、手洗いを最後の消毒までやらないとエアシャワールームのドアが開かず入室できないシステムになっている点、又、部屋と部屋の間には全てパススルー冷蔵庫を設けてあり、パススルー冷蔵庫内で食材は次のコーナーにパスするシステムで、人の通過が出来なくしてあり、汚染防止になります。1Fのガラスは全てペアガラス(ガラスが2枚で魔法瓶の原理になっている)で防カビ、防湿、防音対策となっています。

次に食材についてですが、お米は山形県のおきたま農協との契約栽培米で当社のお米は使用する5日前までもみ殻を付けた状態で保管しています。すなわち一年中新米のような状態のライスを提供しています。また、それら全部の食材を調理する水は全て箱根山系の天然水を使用しています。野菜は箱根西麓野菜を毎朝、朝市で買い求め出来る限り海外野菜の冷凍食品は避けるようにしています。異物混入のNO1は野菜についている昆虫、木片などですが、水圧ジェットで洗浄する機械は野菜のヒダに入り込んでいる昆虫も掘り出すシステムなので、以前よりも安心です。野菜を冷蔵保管すると、虫は寒さで葉物のすきまに入り込んでしまい通常の水道水ぐらいでは取り出すことが大変難しいのです。最後に、出荷室をプラットホーム方式にした点ですが、防鼠、防芥に役立つことはもちろん、砂利等の異物混入防止に役立っています。またこのプラットホームの床下には電気自動車時代を想定した深夜電力充填コンセントを多数用意して地球にやさしい環境作りに役立たせるつもりです。他にも何か所か環境に役立つ設備が環境庁に認められ、環境庁の支援金、地球温暖化対策加速化支援無利子融資利子補給金の交付を受けて建設させていただきました。

(週報担当:瀬川幸信)